

2021年11月8日(月)

事業所横断サステナビリティアクション推進活動
「“環境問題”をテーマにした啓発活動」報告レポート

■はじめに

株式会社横浜八景島では、西武グループが策定した方針に基づいて、すべての人々、生きものたちが未来にわたって健やかにくらしていけるように、サステナビリティアクションを推進しています。国連総会の会期と合わせた毎年9月末の1週間が「SDGs 週間」であることにちなみ、期間中に環境啓発活動を目的とした取り組みを行いました。

■活動報告

横浜・八景島シーパラダイス

7月にリニューアルした海育をコンセプトにした水族館「うみファーム」において、9月25日(土)にガイドツアーと海ごみ回収ドローンの操作体験を行いました。東京湾の生きもののお話を交えながら、昨今注目度の高い海洋プラスチックゴミが私たちの生活にどのように関わっているのかをレクチャーしました。当日はたくさんの参加ご希望者がいらっしゃったことから、当初10名の定員を10組35名さまにまで枠を増やし対応しました。小学校低学年の方から大人の方まで、幅広い世代の方にご参加いただきました。

東京湾の生きものにふれる体験を通し、海とそこですらす生きものに興味を持っていただくことができました。今回初めての試みとなった、「海ごみ回収ドローン操作イベント」では、ゲーム感覚で楽しく操縦しながらごみ回収の大切さについて伝えることができました。



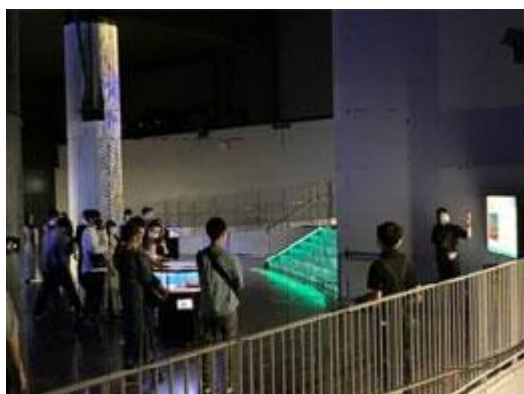
マクセル アクアパーク品川

マクセル アクアパーク品川では9月25日(土)、26日(日)に「サンゴ礁の現状と私たちにできること」と題した環境啓発を目的とした解説イベントを開催し、2日間で約50名のお客さまにご参加いただきました。

「サンゴは、動物か植物か（A. イソギンチャクに近いなかまで「動物」です）」という基礎知識からはじめ、サンゴの生態やサンゴ礁が減ってしまっている現状とその理由についてレクチャーしました。理由の一つに、地球温暖化があります。海水温が上がると、サンゴは栄養が摂れず弱ってしまいます。すると、生きものの「住処」や「防波堤」としてのサンゴ礁の役割が機能しなくなったり、サンゴ内で共生する褐虫藻という植物プランクトンが酸素を作り出すことができなくなったりしてしまうのです。サンゴ礁を守るために「節水する」「使っていないコンセントはプラグから抜く」など、日常生活で誰もができる温暖化対策についてもご紹介しました。

また、当館で行っている繁殖方法の1つである「枝打ち」について、実際に枝打ちしたサンゴの現物と、少しずつ成長していく過程の写真をご覧いただきました。

9月に初めて確認することのできた水槽内でのサンゴの産卵を動画でご紹介し、その神秘的な様子には感嘆の声があがりました。今回のイベントを通じ、ご参加の皆さまに環境を守ることの大切さをお伝えすることができました。



仙台うみの杜水族館

仙台うみの杜水族館では、9月25日(土)、26日(日)の2日間に、当館で飼育されているスナメリや地域固有淡水魚種の保存活動について紹介する30分間の「環境啓発館内ガイドツアー」を開催しました。1日目には9名の方、2日目には17名の方々にご参加いただきました。

ガイドツアーの中では「SDGs」とは何か、SDGsの必要性などについての説明から、仙台うみの杜水族館としての考え方や具体的な取り組みについて解説しました。小さなお子さまには少し難しいテーマでしたが、時間の許す限り質問も受け付け、参加者の皆さまの理解を深めていただきました。



上越市立水族博物館 うみがたり

上越市立水族博物館 うみがたりでは、10月3日(日)に「エコもっと Free」を、一般の方とスタッフ合わせて10名で実施いたしました。「エコもっと Free」は、毎月第1日曜日に行っている清掃活動です。今回は「海の生きものと環境との関わりを学ぼう」というテーマのもと、水族館からほど近い海水浴場「船見公園」で、海洋ごみについてのレクチャーとビーチクリーン活動を行いました。

レクチャーではSDGsについて、海のごみ…特にマイクロプラスチックについてお話ししました。ビーチクリーン活動では、日頃から地域の方がごみ拾いを行っているおかげで目立つごみは少なかったものの、マイクロプラスチックやそれに近いプラスチック片が多く見受けられました。参加した方からは「一見するとごみがないように見えても、小さいごみがたくさんあることを知った」、「歯磨き粉やオムツにもマイクロプラスチックが含まれることを初めて知った」などのお声がありました。

「エコもっと Free」は気象状況を鑑み、11月からの冬季は中止予定でしたが、「次回もあるなら来たい」という声もいただいているため、急遽11月にも開催する予定です。



羽村市動物公園

羽村市動物公園では、9月25日(土)、26日(日)に「飼育動物のフンの有効活用について」というテーマのもと、レクチャーを2日間(計4回)開催し、41名のお客さまにご参加いただきました。飼育動物のフンは、たい肥(有機肥料)として利用することができます。当日はたい肥になる残餌と、園でも特に人気のあるモルモットと一緒に紹介することで、小さなお子さまをはじめ多くのお客さまが興味を持ってレクチャーに参加してくださいました。



Xpark

Xparkでは、9月24日(金)から26日(日)の3日間、桃園市環境保護局とタイアップし、来館者に対してグループ園館のSDGs活動を紹介するとともに、海洋問題に関するイベントを開催しました。

例年、桃園市環境保護局は、環境保全推進活動としてごみのリサイクル分類に関する教育イベントなどを行っていましたが、今回はXparkと協力して海洋環境の問題をテーマにした活動を行いました。

1日目と3日目には、各日3回ずつ、水と環境問題をテーマにした5つの絵本の読み聞かせを行い、計212名のお客さまが参加されました。「龍宮王子の嘆息(竜宮城王子のため息:海のゴミのおはなし)」や「来自北極的一封信(北極からの手紙:地球温暖化に関するおはなし)」などの絵本の読み聞かせに、子どもたちは真剣に耳を傾けていました。

また、2日目に3回行ったDIYでは計118名のお客さまが参加され、海洋をテーマに、再生紙を利用した鉛筆立てを作成しました。多くのお客さまが親子で参加し、楽しそうに素敵な作品づくりに取り組んでいました。

今回は、桃園市環境保護局と協力することで、想定より多くの方々に活動に参加していただき、SDGs活動についても広く知っていただくことができました。



■さいごに

これからも私たち株式会社横浜八景島は、サステナビリティアクションを通じ、お客さまに環境保全について考えるきっかけづくりをして、コーポレートスローガン「生きものを通じて世界に笑顔と感動を」提供してまいります。